

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)宝塚市栄町二丁目 計画	階数	地上15F
建設地	兵庫県宝塚市栄町二丁目197番1他4筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、法22条区域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年5月26日
敷地面積	1,012 m ²	作成者	株式会社永都設計 井海克彦
建築面積	420 m ²	確認日	2022年5月26日
延床面積	4,814 m ²	確認者	中野 智美



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 断熱性能や遮音性能を確保することにより、居住者の快適な室内環境を計画した。また、節水型に機器や、コージェネレーションの採用により、地球環境にも配慮している。		その他 特になし
Q1 室内環境 遮音性能の高い建具の採用し、F☆☆☆☆やVOCの少ない建材を使用、また、高い断熱性能と昼光率の確保により、快適な室内環境となるよう配慮した。	Q2 サービス性能 Gbitクラスの高度情報通信に対応している。また、躯体材料の耐用年数は品確法の劣化対策等級3相当としている。	Q3 室外環境(敷地内) アプローチ沿いに、カツラやイロハモミジなどの季節感のある樹木を植栽する。
LR1 エネルギー 外皮の断熱性能を確保し、一部住戸にコージェネレーションシステムを採用することにより、一次エネルギー消費量を低減している。	LR2 資源・マテリアル 節水型の便器や水栓の採用や特定調達品の採用により、環境に配慮した。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ を低減している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される